

議会だより ひらゝずみ

第171号

令和3年5月1日

定例会3月会議

平泉と盆栽の魅力に 心惹かれて

平泉と盆栽を愛して止まない沖山悟さん。自宅の庭には盆栽が所せましと並んでいます。通りすがりの外国の方も「ジャパニーズボンサイ」と声をかけてくれます。



- 主な内容
- 議会3月会議
- みなさんの暮らしを支える大切な予算…2
- 一般質問
- ここが聞きたい
- 7議員が町の考えを問う…8



議会だよりひらゝずみ 171号 発行/平泉町議会 編集/議会広報編集特別委員会 平泉町平泉字志羅山45-2 TEL 0191-34-5595 HP <https://www.town.hiraiwumi.iwate.jp>

シリーズ 頑張る人

太鼓で平泉を盛り上げる

奥州平泉山王太鼓 (畠山清一 代表)

山王太鼓は平成11年「小島神社」例大祭での太鼓演奏奉納を目的に有志で始めました。数年後「水かけ神輿」でのお囃子をする頃は町内全域から集まり、小学生だけでも10人近くで賑やかな頃もありました。小学生の頃やっていた子が社会人となり、今や子どもたちへの指導もしています。これほど嬉しかったことは他にありません。

10年前、震災のニュースばかりだった中に「平泉世界遺産登録決定」の知らせは「やった〜」って感じて、全員精一杯太鼓を打ったことが昨日のことのようです。今はコロナ禍で練習も自粛中ですが、「出番はきつと来る」と信じ辛抱の日々です。



令和2年の世界遺産祭にて



あとがき

町議会議員が改選され、早一年が過ぎました。町民の皆様には、新型コロナウイルス感染症という未知との遭遇とたたかひながら新しい生活様式が余儀なく

され、経済活動も不安定の中、知恵を絞りながらの生活かと思えます。3月の定例会議では、令和3年度予算審議が行われ、充分な検討をし全て可決されました。議会は町民の皆様の声を町政に反映し、施策を行って参ります。

議会だよりは、今後わかりやすく、丁寧にお伝えしていきます。
大友仁子

編集スタッフ

委員長	阿部 圭一
副委員長	稲葉 圭一
委員	升沢 正
委員	水室 博子
委員	大友 裕史
委員	仁子

表紙の紹介

師匠との盆栽談議が何よりの楽しみ

定年退職を機に埼玉県上尾市から平泉町に移り住みました。歴史のある静かな平泉町に住みたいと2012年に

志羅山に家を建てました。上尾市にいた時から盆栽の聖地である盆栽町に通い始め、現在は600鉢余りあり、日々植え替えや剪定、水やりに忙しい毎日です。

盆栽歴60年の7区の小野寺証志さんが師匠です。二人は日々盆栽談議に余念がなく研究熱心で、盆栽は素人から見てもとても奥が深いと感じました。

沖山さんは一昨年から公民館の「苔玉作り講座」の講師を務めています。



町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

議会だよりは再生紙を使用しています

※議会だより第170号P14の表紙の紹介の写真説明文の「達谷庵西光寺御供所」の誤りです。お詫ひし訂正いたします。

みなさんの暮らしを支える 一般会計予算 54億7000万円

大切な予算

定例会3月会議

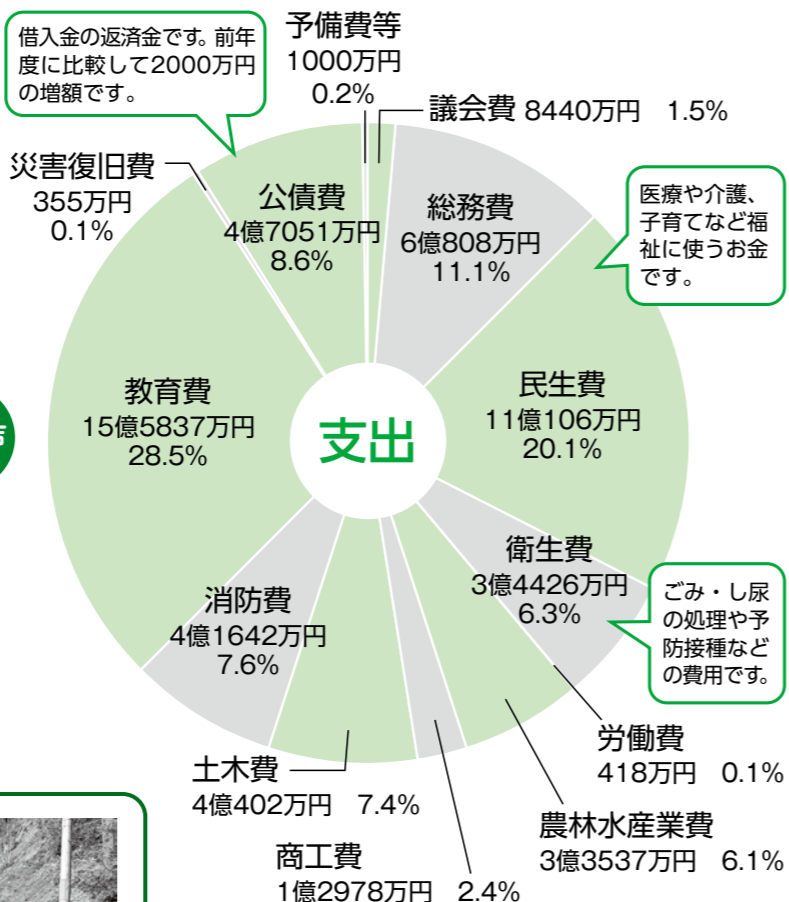
議会定例会3月会議は3月8日から17日まで10日間の会期で開かれました。一般質問には7人の議員が登壇し、直面する町政課題、施政方針、教育行政方針などについて町の考えをたどりました。令和3年度一般会計、特別会計等の予算については、予算特別委員会を設置し、慎重審議の結果、原案どおり可決しました。

子育て支援・移住・定住

- ・出産祝金200万円(1人5万円の祝金)^新
- ・医療費の助成4368万円(18歳まで無料)
- ・家庭相談員1名配置106万円^新
- ・子育て支援センター事業439万円
- ・子育て世代包括支援センター事業341万円
- ・妊産婦交通費助成42万円^新
- ・結婚祝金60万円(1世帯3万円)^新
- ・定住促進に移住支援補助100万円

町の声
岩瀨愛さん・颯生くん・颯天くん
(平泉字上野台)

保育所に入りやすく、待機児童をなくすようにしてほしいです。



借入金の返済金です。前年度に比較して2000万円の増額です。

予備費等
1000万円
0.2%

議会費 8440万円 1.5%

医療や介護、子育てなど福祉に使うお金です。

ごみ・し尿の処理や予防接種などの費用です。

3路線の道路を整備 3980万円

- 整備予定路線
- ・ねずみ沢線
 - ・祇園線
 - ・佐野原祇園線



整備予定のねずみ沢線

高田前住宅、下水道化 4720万円

世界遺産登録10周年事業 1429万円

- ・機運醸成事業 (FM放送) 990万円
- ・記念事業 439万円

町の声
千葉正志さん (平泉字泉屋)

コロナ禍での記念事業開催は、大変な事だと思いますが、私たち町民はこの事業を通じて苦労して登録できた世界文化遺産の意義を、改めて認識できたらと思います。

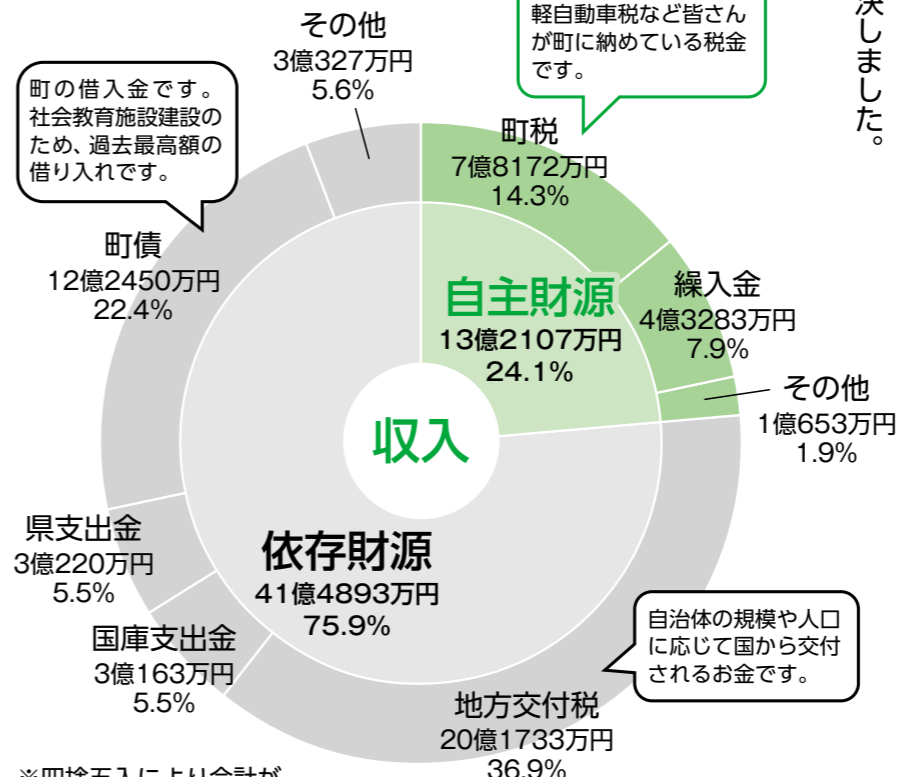


社会教育施設の整備 9億8269万円

町の活力を生み、育てる「にぎわい交流拠点」となる社会教育施設整備。令和4年7月の使用開始を予定しています。

町の声
佐藤理恵さん・妃依那ちゃん
(平泉字泉屋)

広い年代の親子が楽しめる子育て施設がなかったので期待しています。外で遊べない季節、土日にも利用できる施設であればいいですね。



町の借入金です。社会教育施設建設のため、過去最高額の借入れです。

町民税、固定資産税、軽自動車税など皆さんが町に納めている税金です。

※四捨五入により合計が一致しない場合があります。

- ◆繰入金のうち、基金の取り崩し額は、4億2783万円、残額は8億5460万円
- ◆借金の総額は、55億1487万円(年度末見込)(前年度に比較して7億8154万円増)

防災行政無線デジタル化に 2億2527万円

防災行政無線をデジタル化に更新。基地局6カ所、個別受信機2600台



町の声
小野寺陽平さん
(平泉字善阿弥)

2~3年前に防災行政無線を付けました。地震などの時にとっても役に立っています。

町の声
鈴木徹さん・朝陽くん・穂鷹くん
(平泉字佐野原)

少子高齢化社会により、今後の町人口は減少傾向にあると思います。自主財源の確保には、この町に住みたいと思えるようなまちづくりが必要不可欠だと思います。平泉の魅力を引き出す施策を期待しています。



起業の支援に 2233万円

- ・町有財産を活用し、起業の支援。起業シェアハウスを整備に741万円
- ・プログラミング講座等に1471万円など

企業立地資金の利子補給に 554万円

2団体の利子補給補助金が見込まれています。

令和3年度各会計予算

会計区分	予算額	一般会計から繰入等
一般会計	54億7000万円	-
特別会計		
国民健康保険会計	8億2370万円	5640万円
後期高齢者医療会計	9130万円	2398万円
健康福祉交流館会計	7490万円	3000万円
町営駐車場会計	5330万円	-
下水道事業会計	収益的経費 2億9706万円 資本的経費 2億3978万円	2億607万円
水道事業会計	収益的経費 2億8988万円 資本的経費 4億8323万円	3321万円
合計	78億2314万円	3億4966万円

※単位未満を四捨五入しています。

町営住宅使用料の減額は

問 400万円の減額を見込んでいるがその理由は。

答 高田前住宅の水洗化工事を開始するため、お住まいの一部の方に空室に移ってもらう。その間、入居ができず、家賃収入が減額になる見込みである。



阿部 圭二 委員

町民の憩いの場を町内外へ周知すべき

問 広告料が計上されていないが、健康福祉交流館の広告戦略はどのようになっているのか。

答 以前は予算計上して広告を行っていたが、現在は無料の各種雑誌、インターネットサイト、地図検索システム等を活用して周知を図っている。

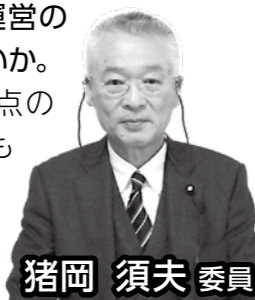


水室 裕史 委員

健康福祉交流館の今後の在り方は

問 健康福祉交流館への年間3000万円の繰入金は今後も続けるのか。運営の在り方を考えるべきではないか。

答 高齢者福祉の大事な拠点の一つである。当面は職員数も賃金も減らすことはできないが、今後の活用については考える時期にきている。

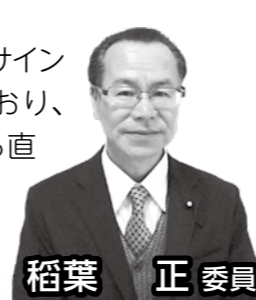


猪岡 須夫 委員

車道に面した案内板の安全策は

問 伽羅御所跡の案内板を安全に読めるようにできないか。

答 観光案内板については、サイン計画にも合わなくなっており、観光協会とも相談しながら直したい。



稲葉 正 委員

妊産婦への交通費助成は

問 妊産婦交通費助成の支給方法は。

答 1人1万円、母体への負担、経済的な負担を軽減していきたい。母子健康手帳交付時に交通費のチケットを交付する予定である。



大友 仁子 委員

くらしに直結、過去最大の予算が決定!

3月12日、15日に予算特別委員会を開催し、令和3年度の予算を集中審議しました。

すべての会計予算案について、審査意見を付して、可決すべきものと決定しました。



予算特別委員長
千葉 勝男



副委員長
稲葉 正



社会教育施設完成イメージ図

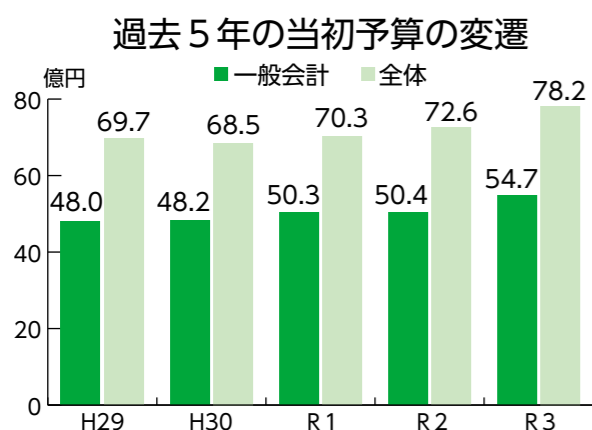
新社会教育施設の運営は

問 新社会教育施設は社会教育の拠点となるが、社会教育委員会議の役割と運営は。

答 令和3年度に町民による運営方法のワークショップを行う。社会教育委員会議、施設の運営協議会、利用団体で運営を協議する。



升沢 博子 委員



出産祝金に多子加算の考えは

問 出産祝金は1人5万円だが、今後増額と多子加算の導入を検討できるか。

答 一律5万円としており、商品券3万円、現金2万円の給付を予定している。増額、多子加算は考えていない。

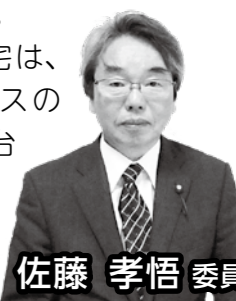


真筆 光幸 委員

町営住宅の入居者募集は

問 上野台、高田前団地の空き住宅を整備することにより、入居可能か。

答 高田前団地の2階建住宅は、水洗化に併せユニットバスのセット工事を進め、上野台団地と併せて空き住宅の入居者募集を、その都度かけていく。



佐藤 孝悟 委員

審査意見

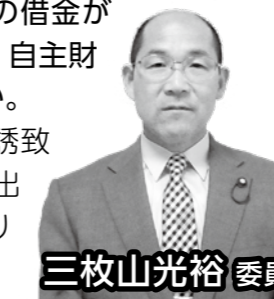
1 大型事業へ集中した財政出動が続く中、住民意思が反映される予算執行に努められたい。
また、災害などの予測できない事態にも対応可能な自主財源の確保に努め、基金の取り崩しは慎重に行うこと。

- 2 世界遺産登録10周年記念事業実施については、コロナ禍であることから受け入れ態勢に万全を期し、慎重に計画実施すること。
- 3 定住化促進及び子育て環境の充実を積極的に推進されたい。
- 4 健康福祉交流館の構造的な課題を解決し、繰出金の圧縮解消に努められたい。

自主財源、税収を増やすための手立ては

問 新年度予算の地方税収入見込みが2.4%の減となる。一方、町の借金が172.2%の伸びとなる。自主財源、税収をどう増やすか。

答 移住定住対策、企業誘致施策を考えている。歳出は事業の優先順位により調整する。

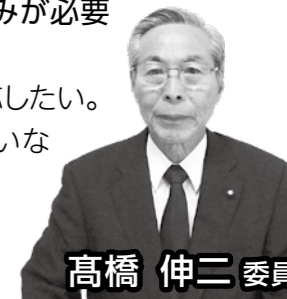


三枚山光裕 委員

鳥獣被害対策支援に厚みを

問 鳥獣被害対策防止計画の見直しは、わな免許所持者の支援に厚みが必要ではないか。

答 捕獲が前提として対応したい。実施隊に指名されていない方々も対応していく。



高橋 伸二 委員

議案内容と審議結果

賛否のあった議案以外は全員賛成で可決しています。

議会定例会3月会議（3月8日～17日）

議案番号	議案及び内容	関連ページ
条例の制定と一部改正		
第3号	平泉町議会議員及び平泉町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例（選挙運動用の自動車、ビラ・ポスターの作成を公費負担）	
第4号	平泉町総合発展計画審議会条例の一部改正（総合計画と整合性を図るとともに、委員の人数を削減するための改正）	
第5号	平泉町国民健康保険条例の一部改正（法の改正に伴うもの）	
第6号	平泉町屋外広告物条例の一部改正（県条例の改正に伴い、管理義務・点検の条項を追加）	
令和2年度補正予算		
第10号	一般会計補正予算（第11号）（新型コロナウイルス感染症対策費用8839万円や、公債費の繰上償還823万円などを追加し、不用額を減額）	6
第11号	国民健康保険特別会計補正予算（第3号）（県交付金の増加）	
第12号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）（保険料納付金の増加）	
第13号	健康福祉交流館特別会計補正予算（第3号）（入館料1607万円の減額に伴い一般会計から805万円の繰入金増額）	
第14号	町営駐車場特別会計補正予算（第4号）（駐車場使用料の1205万円の減額に伴い、一般会計から530万円の繰入金増額）	
第15号	水道事業会計補正予算（第3号）（収益的費用175万円の追加及び資本的収入1816万円の減額）	
議員提案（陳情に伴う意見書提出）		
発議第1号	国立病院の機能強化を求める意見書の提出	8

議案番号	議案及び内容	関連ページ
その他		
第7号	第6次平泉町総合計画の策定（R3～R12年度の町の長期展望に立った計画の策定）	6
第8号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定（R3～R7年度の戸河内地区の総合整備計画の策定）	
第9号	町道の路線認定（高田前工業団地2号線の町道認定）	
令和3年度当初予算		
第16号～21号	一般会計及び特別会計等 7件	2～6
令和3年度補正予算		
第22号	一般会計補正予算（第7号）（新型コロナウイルスワクチン接種費用を追加）	6
人事		
同意第1号	平泉町職員懲戒審査委員の任命同意 千葉 登氏（新任） 任期：令和3年4月1日～令和4年9月30日	
同意第2号	固定資産評価審査委員の任命同意 丸山 芳広氏（再任） 任期：令和3年3月30日～令和6年3月29日	
同意第3号	教育委員の任命同意 山平 功二氏（再任） 任期：令和3年4月1日～令和7年3月31日	
諮問第1号	人権擁護委員 菅原 吉紀氏 適任（再任）	
諮問第2号	人権擁護委員 八重樫結花氏 適任（新任）	

議会定例会6月会議のお知らせ

6月9日(水)～16日(水) 開催予定

※本会議はインターネットで生中継しています。



議案	賛否のあった議題 (賛成：○、反対：×)													賛	反	採決結果	
	議員名	大友仁子	稲葉正	猪岡須夫	水室裕史	阿部圭二	三枚山光裕	真筆光幸	高橋伸二	佐藤孝悟	千葉勝男	升沢博子	高橋拓生				
第7号	第6次平泉町総合計画の策定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
第13号	令和2年度健康福祉交流館特別会計補正予算（第3号）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
第16号	令和3年度一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
第19号	令和3年度健康福祉交流館特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
第23号	令和3年度一般会計補正予算（第1号）	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
請願1号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願書	×	×	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	5	6	不採択	

※採決に議長は参加していません。

1月から3月まで議長交際費の支出はありませんでした。 ※詳細はHPをご覧ください。



定例会 3月会議

議案第7号

これからの10年、平泉の目指す姿は 第6次平泉町総合計画 ～輝きつむぐ理想郷～ 策定

【将来像】 輝きつむぐ理想郷
-いにしへの歴史と希望ある未来、そして人を育むまち-

【基本方針】 1 つながりを力に
2 新しい魅力を力に
3 歴史・文化・自然の恵みを力に

【基本目標1】 一人ひとりの個性や生きがいを大切に、町民参加で進める協働のまち	【基本目標2】 いつまでも健やかに暮らし続けられるやさしいまち
【基本目標3】 新たな時代の流れをつかみ、にぎわいと活力を生み出すまち	【基本目標4】 支え合いの心でつくる安全・安心なまち
【基本目標5】 環境と調和した快適で美しいまち	【基本目標6】 歴史と文化を継承し、交流と創造が花開くまち

【第6次平泉町総合計画】大綱図

- 政策評価を基に5つから6つの体系に
- Q 体系を5つから6つに変えた理由は。また、政策評価は総合計画策定にどのように活かされたのか。
- A 各課における政策評価を実施、課題を洗い出し計画に反映させた。目標に合わせ、わかりやすい体系に変えた。
- Q 町民参画を促す「協働のまちづくり交付金」事業が見直しされている。今後、協働のまちづくりをどのように進めるか。
- A 補助金交付内容を見直し、住民視点の新しい協働のまちづくりを検討する。

議案第10号

令和2年度一般会計補正予算・コロナ対策補助金の減額は

Q コロナ対策の「小規模事業者持続化補助金」と「中小企業等経営継続支援給付金」の減額の内容は。

A 「小規模」は2件のみの申請で減額になった。また、「中小企業」は、申請想定数200件が161件となり減額になった。臨時交付金は3億円余、これを上回る補助金を予算化したため財政調整基金を活用したが、今回の補正で減額になったところは基金に戻す。

令和2年度補正予算

会 計	補正額	補正後予算額
一 般 会 計 (第11号)	△5857万円	63億5583万円
国民健康保険特別会計(第3号)	946万円	8億2116万円
後期高齢者医療特別会計(第2号)	96万円	9098万円
健康福祉交流館特別会計(第3号)	△1346万円	6290万円
町営駐車場特別会計(第4号)	△675万円	3994万円
水道事業会計(第3号)	(収益的支出) 175万円 (資本的収入) △1816万円	2億8115万円 2億5027万円

議案第22号

令和3年度補正予算

会 計	補正額	補正後予算額
一 般 会 計 (第1号)	2948万円	54億9948万円

※単位未満を四捨五入しています。

議案第16号

令和3年度一般会計予算

反対 討論【猪岡須夫議員】

今年度には財政調整基金がおよそ6億円になると見込まれ、県の示す財政分析指標クロス表の「現在から将来にわたって、公債費等の負担が重い状況」に陥ると考えられる。問題を先延ばしにしてはならない。

賛成 討論

【高橋伸二議員】

予算特別委員会で活発な議論が行われ、審議を尽くし、審査意見書を付した経緯がある。執行者側に審査意見書の尊重に向けた努力を求め賛成する。

賛成 討論

【三枚山光裕議員】

今年度予算では定住化政策、子育て支援等、先を見据えた政策が実行される。審査意見書には諸課題の改善に向けた議会からの提起も盛り込まれたことも踏まえ、賛成する。



氷室 裕史 議員

ここが聞きたい!

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、議員が執行機関である町長などに対し、事業の状況や将来の方針などの諸問題について問うものです。平泉町では一人60分以内の制限時間で質問を行います。

※掲載している内容は、質問者自身が要約し広報委員が校正したものです。
※全文は、議会ホームページでご覧いただけます。



●氷室 裕史 議員…P 9

- ① スマートインターチェンジ周辺の整備事業
- ② 消防団及び防災

●猪岡 須夫 議員…P 10

- ① 公共交通施策実施
- ② 平泉町の執務時間及び人件費
- ③ 健康福祉交流館「悠久の湯」の運営
- ④ 移住者の受け入れ

●三枚山光裕 議員…P 11

- ① 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、影響を受ける事業者への支援
- ② 大雪により被害を受けた農業施設への支援
- ③ 小中学生へのタブレット導入による、電磁波の影響と対策

●大友 仁子 議員…P 12

- ① 災害対策
- ② 平泉世界遺産登録 10周年

●稲葉 正 議員…P 13

- ① 新型コロナウイルス感染症の予防接種
- ② 平泉文化の継承を担う、文化遺産センターと県のガイダンス施設
- ③ 県道平泉停車場中尊寺線の活用
- ④ 地域振興を目指した日本農業遺産

●阿部 圭二 議員…P 14

- ① 住宅リフォーム・リノベーション助成
- ② 国民健康保険税
- ③ 子どもたちの平和教育
- ④ 補聴器の購入補助

●真竈 光幸 議員…P 15

- ① 東稲山麓地域への今後の取り組み
- ② 新しい制服導入
- ③ 県南地区工業高校再編

SIC周辺整備事業の進展は

答 事業者進出計画の進展はない

問

計画の進展を地権者には説明しているとのことだが、近隣住民への説明はしないのか。特に4区から10区は交通事情が大きく変わると思われるが見解を伺う。

問

東北自動車道西側の交通事情が煩雑化している。近隣住民への周知方法はどのようにしているのか。

まちづくり推進課長

施工業者の作成

町長 画を示しながら説明したが、地域の方々の関心の高い事業であるので、何らかの形で周知していきたいと考える。

建設水道課長

現在、横断歩道もない現状ではあるが、今後も警察、公安委員会と情報を共有していく。保護者、子どもたちへの説明はチラシの配布により情報を提供している。祇園線には歩道を設置し、安全対策を取るが、供用してみなければわからない点もあるため、必要に応じ今後は対策を検討していきたい。

問

昨年末の現地説明会に参加したが、車で通行すると歩行者目線で歩いてみるのでは視野が異なった。供用開始後も小・中学生が通学路にする道でもあるが、安全配慮はどのような形になっているか。



昨年末に行われた地元説明会

消防団の出動手当の改善は

答 近隣市町村とのバランスを考慮する

問

実状として、水防隊は平泉町消防団が兼務しているのではないかと。水防隊と消防団で出動手当を一元化できるのか見解を伺う。

総務課長

風水害に適用されるものが水防隊の手当となる。一元化の考えはない。

問

令和元年度決算で出動手当のない水防隊員の出動手当の不用額が75万円以上計上されている。過去5年間では300万円にも上る。この不用額を今後、消防団の出動手当や女性消防協力隊への補助に充てることも可能ではないか。

町民福祉課長

国の指針はないが、第二分団の防火水槽で敷地の所有者に許可を取り、泥上げをした事例がある。

問

防火水槽の堆積物を除去しなければ防火水槽は機能しない。除去に関し、国からの指針などはあるか。

問

当町には水防隊が組織されているが、その出動手当を伺う。

町長

過去5年間、出動手当はない。

総務課長

毎年度予算を使っていない現状であり、ここ数年大きな水害は

水防隊を消防団が兼務しているので手当てを一元化すれば毎年の不用額をその他の防災費用に活用できるのでは。

議員のひとりごと

請願審査

請願第1号 安全、安心の医療、介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願書

総務教民常任委員会の審査の結果、**不採択**の報告を受け、本会議で審議しました。

賛成 討論 [阿部圭二議員]

コロナによる対応が医療、介護の経営悪化に繋がっている。医療体制の強化充実が必要であるため採択すべきである。

賛成 討論 [猪岡須夫議員]

医療、介護の現場は過酷で疲弊している。改善してほしいとの訴えもある。この請願に賛成である。

賛成 討論 [三枚山光裕議員]

請願は医療現場の声であり、国民の負担にも関わることに請願者は心を寄せたものである。

採決の結果、賛成少数で**不採択**となりました。

陳情審査・意見書

陳情第1号 国立病院の機能強化を求める陳情書

全員賛成で**採択**しました。

発議第1号 国立病院の機能強化を求める意見書

1. コロナ等の感染症や大規模災害から国民のいのちを守るため、国立病院を機能強化すること。
2. 国立病院の機能強化に必要な財源は、国の責任で確保すること。
3. 国立病院の機能強化を図るために、医師、看護師をはじめ全ての職員を増員すること。

全員賛成で**可決**し、関係大臣に送付しました。



猪岡 須夫 議員

公共交通施策の実施は

答 実証実験を行う

問 現在運行している路線の廃止との答弁があった。路線の廃止による不便さはどう解消されるのか。また、どの路線なのか。

まちづくり推進課長 長島地区の一関線である。見直しの検討をしており、9月末までは運行するが、決定ではない。実証実験を行い、必要な見直しを行う。

問 不便になることは困る。長島に幼稚園への通園バスの需要はないのか。

まちづくり推進課長 平泉地区のみの運行である。長島地区にはその要望はないと認識している。

教育次長 長島から平泉幼稚園への通園要望は、今のところはない。

問 長島地区は、高齢化が進み、人口が減っている。ETCが出来て便利になるからと、これからの若い人の言い訳にされては、いけない。

まちづくり推進課長 長島の補助金は、5000万円を超えているので、負担していくことが困難である。

問 ひと月にいくつもの病院に通わなければならず、タクシー代をとんでも負担できない。新たな公共交通に高齢者は期待をしている。それを、聞き取る担当者に乗せるのか。

まちづくり推進課長 現状の中で担当者を同乗させて話を伺ってきた。新しい公共交通の運行にもぜひそうしたい。

問 平泉町例規集の執務時間に関する規則に午前8時30分から午後5時30分までとある。

総務課長 2月の議員からの指摘で、午前8時30分から午後5時15分に改正している。

問 1日15分、1週間で1時間15分、1年52週である。それが、8日と1時間、人件費の計算をすると年に1人、13万円になる。

総務課長 改正していなかったことについては、大変反省している。

平泉町の執務時間の改正は

答 改正済みである

問 いつから改正していなかったのか。

総務課長 平成22年4月1日からである。

問 国は平成21年4月1日である。深刻な問題である。誰が職員を指導するのか。町民に説明しているか。

総務課長 広報などで周知しているはずである。

町の貯金が岩手県中で一、二を争うほど少なくて、ナンデ？で大丈夫かよ、です。知らないことが沢山あります。ビックリです。

議員のひとりごと



今年も一般会計予算から3000万円の繰入れです



三枚山 光裕 議員

事業継続へ 新たな支援を

答 早急に支援策を講じたい

問 新型コロナウイルスの拡大に伴い、町内の経済に及ぼす影響は深刻である。事業継続への新たな支援策が必要である。町の考えを伺う。

町長 商工会や観光協会と綿密に意見交換し、早急に支援策を講じたい。

問 去年11月、商工会から要望が出された。売上げの状

況はどうか。

観光商工課長 11月は上向きになるのではとの見込みもあった。商工会、観光協会と意見交換する中では、恐らく年間の4割ぐらい、もしくはそれ以下に落ち込むだろうということを言われている。経済対策でこの波を乗り切れるように支えていければと考えている。

問 5割減という話もあり、深刻である。

しっかりとした対応するべきではないか。

観光商工課長 近隣市ではない7年間の利子補給

私も予算案の採決時に初めての賛成討論。「議会らしい」3月会議だった。これまで「討論なし賛成」。反対討論した猪岡須夫議員と賛成討論した高橋伸二議員に敬意を表しました。

議員のひとりごと

被災農家への支援策は

答 経営再建に取り組む

町長 農林水産省の制度は、被災農家の全てが活用できる支援策になっていない現状がある。当町として国・県補助事業への上乘せ補助、町単独事業による雪害パイプハウス解体撤去等作業支援事業を設置し、被災農家の早期の経営再建に向けて取り組んでいく。

問 再建する人、断念を考えている人もいると思う。実態はつかめているのか。

農林振興課長 事業要望調査を送付し、77人から報告が来ている。国の補助対象が19人、県単事業が30人、町単独事業が37人と思われる。

問 ハウス資材の確保や、価格の問題もある。中

古は対象となるのか。農機具保管庫、資材置場は対象外ということになる。柔軟に対応し、十分な支援をするべきではないか。

農林振興課長 耐用年数が残っている資材で再建すれば対象になる。農機具保管庫、資材置場については、冬期間一時的に置いていた場合には、農機具置場と言いつつも、再建の支援になる可能性は十分ある。



大雪で倒壊したパイプハウス



大友 仁子議員

世界遺産10周年の記念事業は

答 事業内容を調整している

問 令和3年度の10周年、JR東日本による東北デスティネーションキャンペーンの記念すべき年である。また東日本大震災10年を迎え、被災地域にも経済波及効果がもたらせるよう景気回復に期待する。世界遺産10周年の具体的な記念事業の概要は。

町長 世界遺産登録10周年記念事業実行委員会を組織し、事業内容を調整している。年間を通じて様々な事業を計画しているが、新型コロナウイルス感染症が早く収束に向かい、多くの方々に世界遺産平泉に足を運んでいただくことにより、活気あふれる観光、商業の回復につながることを期待している。

問 単に10周年記念事業のお祝いの要素だけでなく、震災復興祈願、新型コロナウイルス感染症の収束に期待すべきと考えるが。

まちづくり推進課長 これも平和の祈りの中で鎮魂の祈り等を捧げてきた。世界遺産10周年、震災から10年を平泉町として発信していく。特に沿岸地域にも波及効果が及ぶようにJRデスティネーションキャンペーンもある。東北を周遊していただき、新しい生活様式に基づいたイベントを意識して開催する方向で検討する。

問 5周年記念事業では、一部事業が関係者のみの参加となり、町民がなかなか参加してもらえない

状況があった。今回は町民と一体的になる記念事業にすべきと考えるが。

まちづくり推進課長 町民と一緒に祝いの形をつくり上げていくのが大事である。町民にも参加していただき、10周年記念の何らかのイベントを開催することで町を盛り上げていく。



平泉世界遺産登録10周年、新たな発展へ

地区防災計画の策定は

答 策定に至っていない

問 異常気象による豪雪被害、気象災害が多発している中、大規模広域災害に備えた自助、共助の役割の重要性が高まっている。平成25年の災害対策基本法の改正で創設された地区防災計画の策定の現状は。

することとしている。当町ではまだ策定するに至っていない。

町長 地域の皆様が自分の命、財産を守るための助け合いについて、自発的な防災活動計画を策定

問 避難所としての小中学校体育館へのエアコン設置状況は。

町長 夏場は窓の風機等を準備して対応する。エアコンの設置は現時点では考えていない。

生活がすっかり変わってしまったこの一年。10年前を思い出すような強い地震。何があっても冷静に対処したいと思います。備えあれば憂いなし。もっと防災の備えをしておけば「東北被災者65%」この教訓、絶対に忘れずに。

議員のひとりごと

新型コロナウイルス感染症予防接種は

答 接種クーポン(券)を郵送する

問 新型コロナウイルススワクチンの接種体制は。

町長 一関市医師会や一関市と協議を重ねながら、職員を保健センターに配置し、人員体制を強化した。新型コロナウイルス接種対策チーム及び支援チームを設置し、接種クーポンの発送や集団接種会場の設営、運営等について体制を整えている。

問 接種者のマイナンバーとの紐付けや活用は。

町長 接種クーポンでの管理となるが、システム業者と情報共有しながら適切な運用を図る。

問 16歳未満が接種できないのはなぜか。

保健センター長 ファイザー社他の治験が整っていないためできない。今後ファイザー、アストラゼネカ、モデルナ他の臨床試験が進むことにより16歳未満にも接種可能になる。

中尊寺線の活用は

答 イベント等で活用する

問 県道平泉停車場中尊寺線の工事進捗状況及び、完成後の活用は。

建設水道課長 平成25年度に事業着手、石張舗装、照明施設、小公園整備、電線共同溝に入線し、令和4年度に既存電柱の抜柱を行い完成予定である。整備完成後にはイベント等の利用も可能に

なるが、安全を考慮し、必要に応じ対応していく。

問 伽羅之御所跡を東へ、徒歩や自転車での駅やガイダンス施設への、通路を整備する意向は。

建設水道課長 連絡通路計画は今のところないが、周辺の状況変化に応じて整備する。

問 文化遺産センターと県のガイダンス施設との連携や役割は。

教育長 令和3年12月頃オープン予定のガイダンス施設は、世界遺産と柳之御所遺跡が対象である。文化遺産センターは平泉の文化遺産全体を対象とし、教育機関として平泉の文化行政を担う施設である。お互い密接に連携し協力していく。

3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナーシップで目標を達成しよう

2030年に向けて、世界が合意したSDGs「持続可能な開発目標」

- 12区公民館から東側の連絡通路は、県の施設オープンに併せて整備すべき
- 安全上、歩行者と自転車の専用通路にしてほしい

議員のひとりごと



阿部圭二議員

国民健康保険税で子ども分は減免すべき

【答】一部の均等割だけ下げられない



子どもの均等割り分をなくして子育て世帯の減税を

問 国民健康保険税の均等割で所得のない子どもについては減免すべきではないか。

町長

国保税には「所得割」「資産割」「均等割」「平等割」の合計で割合は地方税法で定められている。このうちの均等割は所得の多少にかかわらず負担するものである。未就学児にかかる均等割は、令和4年度から5割を公費より軽減

問 措置される予定である。国保税の均等割で18歳以下の子どもは何人いるのか。その金額は。

町民福祉課長

18歳までの子どもが88人で、1人3万9000円で334万4000円である。

問 その334万円を減免すべきではないか。

町民福祉課長

所得割は100分の40、資産割は100分の10、被保険者均等割100分の35、世帯別の平等割で100分の15だけ下げることではない。今後は県を通じて国に対して未就学児以上の小学生、中学生、高校生まで該当になるような取り組みを続けていく。

平和を希求する学習や普及活動は

【答】清衡の願いを平泉学で学習する

問

2021年1月22日に核兵器禁止条約の批准が発効された。平和を希求する平泉として学習や普及活動をすべきではないか。

教育長

中学では、国際貢献、世界平和などの指導をしている。「核兵器禁止条約の発効」は具体的な事象に対する興味や関心を高め考察し、公正に判断する学習の機会として取り上げる。「復興教育」で教育的価値と具体的な21項目の学習活動を計画している。平泉学では藤原清衡が千年前に望んだことは平和な世の中を作ることで、過去を学び未

問

来を考えることで平和を豊かに学んで欲しい。非核・平和宣言都市の平泉で平泉学での平和教育は。

教育長

世界唯一の被爆国で核兵器廃絶を願うのは多くの国民の思いである。約900年前に清衡の中尊寺供養願文で平和な世で生活できるようにとの願いを平泉学で学習している。学校教育の中で、小



非核平和都市宣言の平泉の普及を

学校3年から中学校まで、平和教育が取り上げられている。平和をどう読み取るか、共感、批判的な力や考え方を育てる役割が教科書にはある。発達段階や時期に応じて学習することが、平泉学の一つである。

その他の質問

- ・住宅リフォーム・リノベーション補助
- ・補聴器の購入補助

ますます厳しくなる税金に、国民健康保険税は協会けんぽより負担額が多い。せめて、子ども分の負担を無くしてほしい。

議員のひとりごと

中学校と町職員に新しい制服を

【答】現時点で変更する考えはない

問

新しい社会教育施設・スマートインターなど平泉の景観は大きく変わる。新しい時代を迎える平泉に、多感な時期を過ごす子どもたちの最も身近な存在として、成長と思いに寄り添い夢と学びを応援するのが制服である。

教育長

女子生徒がスカートでなくスラックスで登校することに違和感なく受け入れられる風土が出ている時代かもしれない。

問

町職員についても同様に男女兼用の制服の導入を図るべきではないか。

町長

町職員の制服の導入については、費用対効果の観点と、画一的なものからの脱却、多様な価値観を尊重することから、慎重な検討が必要である。

問

おしゃれであることも取り入れるべきである。生徒手帳や携帯電話など持ち物が収納できるスタイルが良い。いざというときに素早く逃げられるような軽い素材の物が良いのではないか。

教育長

子どもたちには、小ぎれ

新設工業高校の平泉への誘致を

【答】現段階では考えていない

問

一関市・奥州市には複数の県立高校・私立高校が存在している。新設統合工業高校が平泉に設置することに何ら問題は無く、平泉に高校を望むのは町民の永年の悲

願である。

新設工業高校を平泉に誘致すべく手を挙げるべきと考えるが、見解を伺う。

町長

東稲山麓地域世界農業遺産登録を奥州市・一関市と共に協力しながら目指している中で、平泉に誘致というのは考えられない。



一関工業高等学校



水沢工業高等学校

駅から水沢工業高校までは2.6km徒歩33分、一関工業高校までは3km徒歩38分かかります。平泉ならスマートインター周辺開拓地あたりに該当します。

議員のひとりごと

※議会だより第170号P11の真筆光幸議員一般質問の「ウォシュレット」は「温水洗浄便座」の誤りです。お詫びし訂正いたします。

議会活動の様子

町政調査会

議員相互の親睦を図り、町政の各般に亘る調査、研究、協議を行い、町政振興に寄与することを目的に町政調査会活動を行っています。

令和2年度は研修会を6回開催

- ① 追跡質問等（2回）
- ② 地方議会の課題と機能強化
- ③ 平泉町の財政状況と今後の財政見通し
- ④ 平泉町の政策評価
- ⑤ 平泉町の交通施策



世界遺産・環境整備の日には全員で清掃作業

大雪被害への農業支援を要望

- 2月19日、町へ次の3点について要望しました。
1. 支援策に必要な予算確保と実効性のある支援策を講じること。
 2. 国、県に引き続き財政措置の早急な支援を求め、関係機関と広域的な連携を取り対策を講じること。
 3. 関係機関及び議会との情報の共有化を継続すること。



県南地区町議会議長会



西和賀町議会、金ヶ崎町議会、住田町議会との4町議会による議長・副議長の情報交換会を開催しました。

コロナ禍における議会運営、業務継続計画（BCP）の作成をテーマに、Web会議により、相互の情報を交換しました。

議会のIC化により さらに開かれた議会へ

タブレット端末の導入

議会の活性化、議員の資質向上、議会運営の効率化と紙資源の節約等に取り組むため、4月会議から、タブレットによるペーパーレス議会が始まります。

すべての議員にタブレット端末が貸与され、ペーパーレス会議（会議機能と文書管理）システムを利用し、必要な資料は全て各議員のタブレットで閲覧できます。

タブレット端末では、資料を見るだけでなく、付属のタッチペンとキーボードを使用して情報を書き込むことも可能です。紙と同じように使用ができ、今後は資料の印刷、運搬等の労力の軽減と膨大な紙の削減が見込まれます。



タブレットと、議会資料



タブレット端末研修会の様子



高橋議長

タブレット型端末の導入により

会議資料の電子化をはじめ、広報広聴活動、災害時における迅速な情報伝達などにも活用し、効率的な議会運営に努めていきます。